

USHA Japan 第 22 回議事録

2021 年 4 月 24 日(土) 15:00~16:00

場所: Zoom 会議

出席者: 小野、井上、富永、酒井、Parkash Acharya、金子、井村、滝井(敬称略)

報告

1. プロジェクトチームからの活動報告

外部協賛助成 (井上副会長代行): 前回より進捗なし。

- 小野会長と会議実施。トヨタ財団の国内助成金募集が開始するも対象が異なるため応募は不可。ただし国際助成金募集が通常現地での活動が必須であるものの、コロナの影響を受け現地へ行かずオンラインでの活動であっても対象となるため応募を検討する。また対象国等についても次回までに要確認。助成金は前回会議で審議した教育支援を主体に使用を検討する。

草の根支援 (富永プロジェクトマネージャー代行)

- 草の根支援活動について 4 月 13 日 Dogwoodにて協議実施。Dogwood からは池田知也取締役、ハナミズキから Prakash 代表、USHA Japan から小野会長、富永副会長代行、井村事務局長が参加し今後の活動方針を議論した。

〈今後の活動〉

- ・ ネパールから来日した際の日本人や、すでに来日しているネパール人との交流支援
- ・ 特定技能待機者(37 名)に対して Zoom 等オンラインを活用し日本に関連した情報を共有
- Dogwood との関係性を明確にするため書面にて覚書を作成し締結予定

2. ネパール情報および草の根支援からの報告

・ ネパール情報(Parkash 顧問)

- 先月より大きな変更なし。コロナ感染は増加傾向で、感染者数は約 2500 人/日。変異型ウイルスがインドで流行しネパールも大きく影響を受けている。今後の感染傾向からロックダウンの可能性もあり。ハナミズキの活動についてはオンライン授業での対応もあり大きく影響はない。5 月に試験が開催予定のため合格者が増える予想。特定技能に合格するも来日がかかわらず、待機者の不安が募っている。

3. その他の報告

・ Tara 副会長の退任について

- 職場の事情で 3 月末に正式退任。井上理事が副会長代行、富永理事がプロジェクトマネージャー代行にそれぞれ就任した。

・ ニュースレター刊行について

- 封書 2 通送付できれば、全会員に配信完了

・ 三木ライオンズクラブ創立 40 周年事業について

- 創立 40 周年記念および理事会(5 月 25 日)に会長、富永理事、Purushottam 理事が出席予定

4. 審議

○次期役員を選出について

- 今年度で役員任期 2 年が終了。9 月の総会にて次期役員を選出予定
選出規定がないため、今回会員から公募で役員を募り、理事会にて検討、総会の承認をへて就任となる。

○ネパール特定技能人材への教育支援計画について

- 現在、日本で実務中の特定技能者 2 名については日本人との交流を図る。またコロナ終息後、待機者が来日した際には USHA Japan メンバーで関空での出迎えや 10 日間の研修への支援など異国の地で孤独を感じないようケア方法を検討する。
- ネパールでの待機者に対する日本についての教育支援については、1 年半近く待機が続きプレッシャーを感じる中、日本とつながることですこしでも心のケアができるようサポート。毎週日本時間 17:15 よりパルさんが行っている授業に USHA Japan メンバーが協力する。詳細については今後検討。

Q. 休日の実施も可能か

A. 日曜日であればハナミズキが開いているので可能

- ・ 実施時期は早い方がいい。最初はフリートークから始め要望をヒアリングしながら進める。最初は USHA Japan 会員に参加を呼びかけて自由参加とし、そのあとは持ち回りで講師を担当。生徒は現在 Dogwood での日本ガイダンスや内定先の月 1 回の面談等で日本人との交流経験はあり。

5. その他

- ・ ネパール教育支援について
 - 前回の会議でも議論したように USHA Japan は NGO 団体であることを念頭に特定の個人や団体ではなく集団に対して支援を行う。対象者や公共施設の選定など現地の情報を把握した上でネット環境を通じて学びの環境を提供できるよう支援を行う。
- ・ 現在の財源では限りがあるため、助成金の検討が必要。助成については HP > 掲示板(パスワード:namaste)にて議論を行う。

次回会議予定 5月 22日(土)15:30~16:30